

ピョンチャン五輪のインターネット展開について

ネット同時配信実験

【試験的提供A】

開会式と閉会式をはじめ、注目競技・種目を中心とする地上波放送と同時の配信を行います。パソコン・スマートフォンや専用アプリでご覧いただけます。午前9時から24時までの配信を予定しています。また、見逃し配信(一部)も行います。

【試験的提供C】

SHV試験放送のうち、1日5時間を限度に放送の同時提供、見逃し配信を行います。4K対応のハイブリッドキャスト受信機などでご覧いただけます。

“いつでもどこでも”サービスの充実

動画配信サービス

【ライブ配信・見逃し・ハイライト】

オリンピック放送機構(OBS)が提供する生中継映像のなかで、NHK・民放が生放送しない競技・種目や録画で放送する競技・種目をライブ配信します。また、ライブ配信した競技・種目を含め、すべての競技・種目の映像を、いつでもご覧いただける「見逃し配信」や、日本選手の活躍シーンを中心にしたハイライト動画、競技結果等をコンパクトにまとめた「パック動画」をWEBサイトやアプリで毎日配信します。

【4K競技配信】

OBSが提供する4Kの競技映像をハイブリッドキャスト等で提供。見逃し配信も行います。

テキスト情報の充実

放送した企画の記事化をはじめ、NHKの独自情報をもとにしたアスリートの秘話やエピソード、競技の魅力など、冬のオリンピックをより身近に感じていただくためのさまざまな情報をテキストでもお伝えます。

2020に向けたトライアル

【ユニバーサルサービス】

国内にいる外国人向けのサービスとして、英語による競技結果や、OBSが提供する英語実況をライブ配信で提供します。

【ロボット実況】

OBSが提供する生中継映像に、競技関連データから自動的に生成した音声と字幕を付け加えて配信します。(1日1競技程度の予定)

ホームページ(事前サイト) <https://www.nhk.or.jp/olympic/> (本日午後3時公開予定)
正式な特設ホームページやスマートフォン向け「NHKスポーツアプリ」は、2月上旬に公開予定



OFFICIAL BROADCASTER

ピョンチャンオリンピックのSHV 試験放送の概要

- ▼フィギュア競技は、すべての種目を8K、22.2 マルチチャンネルで生中継
- ▼オリンピックでは初めて4K中継も編成
- ▼オリンピック期間中の中継番組（ナマ・録画）の放送時間は約 135時間で、リオ大会を上回る見込み

※ピョンチャン 8K・約93時間 + 4K・約42時間 = 約135時間
（参考：リオ 8K 117時間）

【8K中継】

- 中継車 2 台を現地に派遣
- 中継予定競技・種目は、開会式、フィギュア、ジャンプ、スピードスケート（ショートトラック）、スノーボード（ビッグエア）

【4K中継】

- オリンピックでは初めて、オリンピック放送機構（OBS）が国際信号として一部の競技で4K制作を行う
- NHKでは、カーリング、アイスホッケー、スキーフリースタイル、閉会式をSHV試験放送で中継予定

【パブリックビューイングなど】

- パブリックビューイングは、東京・渋谷のNHK「ふれあいホール」のほか全国数ヶ所を実施する予定（詳細は検討中）
- NHK 各放送局で試験放送の受信公開を実施する予定